

## 努力事項 その5 (中学校)

「学校教育指導の重点」の美術の努力事項をひとつずつ考えていきます。今回は、学習指導要領の内容に照らして、以下について考えてみます。

主題の発想から作品の完成までのそれぞれの過程で、  
一人一人の構想や表現のよさを認め励ましながら  
多様な方法で評価しましょう。

1 これは、どういう意味なのでしょうか？

これは、作品が完成した段階でのみ評価するのではなく、下記のそれぞれの段階で評価を行い、取組の変遷や全体像を把握して評価するようにしましょう。

導入時、発想・構想時、制作の初期、中期、末期など

また、完成した作品のみを評価の対象とするのではなく、下記のような多様な方法で評価し、題材で身に付けるべき資質・能力が身に付いたのかという視点で評価していきましょう。

- 生徒の発言内容（グループ活動での話し合いの様子を含む）
- アイデアスケッチ
- ワークシートの記述内容
- 制作の様子
- 作品（制作途中の作品を含む）

完成した作品のみを評価の対象としていたのでは、生徒の思いや意図の変遷が把握できず、正しい評価を行うことができません。また、思うように表現できず自分の表現に自信が持てないでいる生徒に対応することもできません。

構想や発想、制作、鑑賞のそれぞれの段階で多様な方法で生徒の思いや意図を把握するとともに、思うように制作が進まない生徒に適切なアドバイスを与えるようにしましょう。また、その生徒なりの表現のよさを見付け、認め、励まし、意欲的に制作に取り組めるようにしましょう。

このような、適切な指導と評価を行っていくことで、ねらいを達成するとともに、生徒が自分の表現に納得し、満足感を味わうことができるようにしていきましょう。



次回は、小学校の努力事項「授業の各段階において、活動を振り返ったり、自分や友達のよさを認め合ったりできるような自己評価や相互評価を行いましょう。」について考えてみます。

8月9日（金）頃アップの予定です。